



# 中学校国語科 指導の充実 STEP1・2・3!!

～「R4全国学力・学習状況調査」の分析結果より～



## STEP1

## 生徒の学びの実態把握

### 全体的な傾向

全ての領域の正答率で、全国比を上回った。例年、課題の見られる自分の考えを書く設問や記述式の設問についても、全国比を上回るものがみられた。

	平均正答率
本県	70
全国	69.0



### 成果の見られた問題①とその要因

設問	正答率(全国比較)
2 = ①	85.5 (+3.4)
2 = ②	82.9 (+2.4)

### 成果の見られた問題②とその要因

設問	正答率(全国比較)
3 四	76.0 (+2.2)

#### <問題の概要>

文脈に即して漢字を正しく書く。  
①(のぞく)・②(よろこんで)

#### <問題の概要>

「おれ」は何を「なるほど」と思ったのかについて、話の展開を取り上げて書く。

漢字についての設問では、今年度も全国比を上回った。また、読むことの設問では、話の展開を取り上げて、内容の解釈を求める設問であった。叙述を根拠として、場面や心情を読み取る力が身に付いていることが伺えた。

今後も、物語を読んで内容を解釈する活動や表現の効果を考える活動等を行う際に、**叙述と結び付けて考えを形成させる指導**を行うことが大切である。

### 課題の見られた問題①とその要因

設問	正答率(全国比較)
3 三	61.2 (-0.8)

#### <問題の概要>

話の展開に沿って「おれ」の行動や心情を並べ替える。

### 課題の見られた問題②とその要因

設問	正答率(全国比較)
4 一	39.0 (-0.4)

#### <問題の概要>

行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する。

登場人物の行動や心情の変化について、物語全体の描写を基にして読み取る設問である。

主人公「おれ」の行動の順序や心情の変化などの話の大まかな流れを読み取れず、選択肢の各描写が、話のどこの場面に当たるのかを判断することに課題が見られる。

成果②のような場面ごとに読み取ることはできているが、**話の全体を俯瞰して捉え、場面の展開や登場人物の心情の変化を読み取る活動が必要である**と考える。

行書の特徴(点画の丸み、点画の方向や形の変化、点画の連続、点画の省略、筆順の変化など)を理解しているかを見る設問である。

書写の学習で書いた行書の文字と行書の特徴を結び付け、知識として身に付けることに課題が見られる。

このことから、書写で書いた文字を**振り返らせる活動**や、お互いの文字を**行書の特徴を視点に交流させる活動**が必要であると考える。

課題の改善に向けて...

指導改善のポイント

「全国学力・学習状況調査」の解説動画も活用

## 広がる言語活動の設定

～部分から全体へ、授業から日常へ～



STEP2

# STEP2

## 更なる学びの充実のための指導改善

指導改善のポイント：**広がる言語活動の設定** ～部分から全体へ、授業から日常へ～

### 課題の見られた問題①を視점에・・・

**関連する指導事項** 第1学年 [C 読むこと] イ  
場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。

重要な描写を読み取り、場面の展開を捉える活動の設定

「『結末』に至る重要な描写」という視点で、話の全体を読み取らせましょう。

「結末」から考えると、この描写から場面が展開したことが読み取れるな。付箋紙に書き出しておこう。〇〇さんはどの描写を挙げたのかな。

重要だと思ったのはなぜだろう。付箋紙を時系列に並べて、グループで説明し合おう。

生徒が描写を見つけれない場合は、教師が描写とその理由の例を示してから見つけさせましょう。

視点を基にして必要な描写を選び、その理由とともに説明する活動の設定

「登場人物の心情の変化につながる描写」という視点で、話の全体を読み取らせましょう。

この話のクライマックスの前後で、主人公の心情が変化しているね。その変化のきっかけを描写している文はどこだろう。

#### ICTの活用

クライマックスの前とは違って、この描写から主人公の納得した気持ちが分かるね。

〇〇さんの言うように、こんな前の場面から心情の変化の描写が書かれているのか。

描写を話の全体から探させ、付箋やICTを活用して共有し、一人一人の読みを深めさせましょう。

**参考** 場面の展開を時、場所、登場人物の変化に注目して捉える

(動画参照4分28秒～7分12秒)

次に扱う話は場所と心情の描写を視点にすると、読み取らせやすいな

### 課題の見られた問題②を視점에・・・

**関連する指導事項** 第1学年 [知識及び技能] (3)エ(イ)  
漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。

日常生活の書くことにつながる言語活動を設定

学級の掲示物や新聞、ポスターの製作などと関連付け、必要感のある言語活動を設定した上で書かせましょう。

学級活動で決めたスローガンを行書で書こう

自分で作った詩や俳句を行書で書こう

年賀状や暑中見舞い等、はがきを行書で書こう



書く目的を明確にすることで、行書の特徴や行書を使用するよさを生徒に考えさせましょう。

書いた文字を振り返り、交流する場面を設定

授業で確認した行書の特徴を視点として、それぞれの作品を振り返らせましょう。

丸みに気を付けてみたけどどうかな。

形が整って、きれいな字だね。点画が連続するところに気を付けて書くと、もっと行書らしくなるよ。

そうか。行書って、ただつながって書いているわけじゃないんだね。

いま交流して気づいた行書の特徴に注意して、硬筆で書いてみよう。

行書の特徴を生徒の作品と結び付けて考えさせることで、活用できる知識として定着させましょう。

**参考** 行書の特徴と書写の学習の一般化について

毛筆の学習を硬筆につなげる学習活動を設定してみよう

(動画参照1分07秒～4分04秒、6分50秒～7分40秒)

# STEP3

## 他学年の指導改善

読書に親しむ生徒を育成しましょう！

本年度の分析からも、「読書が好き」なことと国語の学力との相関関係があることが分かります。

〇読むことの学習活動と関連させて

同じ題材や筆者の本を紹介すると、読書につながれそうね。

〇書くことの学習活動と関連させて

意見文等を書かせる時に、根拠を本からも探させてみよう。

〇他教科と関連させて

社会や理科の学習に関係した本を、紹介してみよう。

授業では、ICTと本を効果的に組み合わせることで、図書室に行ったり本に触れたりする機会も増やしていきましょう。